

## 諸事業への橋渡し提供状況

## (1) J S T事業

No.1 事業名：地域結集型共同研究事業
予算規模：5億2千万円/年 事業期間：平成14年度～平成18年度
もともになった研究シーズ：1) アマモ場造成技術に関する基礎研究および造成基板の新規開発 2) マイクロバブルの生成とその応用に関する研究 3) 微生物による底質の分解、微生物利用 他
研究者（所属、役職）：1) 前川行幸（三重大学生物資源学部、教授） 2) 社河内敏彦（三重大学工学部、教授） 3) 栗冠和郎（三重大学生物資源学部、助教授）
もともになったR S P活動：平成14年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：三重大学、四日市大学、九州大学、広島大学、（独）水産総合研究センター、大成建設㈱、石原産業㈱、JFEホールディングス㈱、㈱ミキモト真珠研究所、中部電力㈱、㈱ニチゾウテック、三重県科学技術振興センター
研究概要：100余年に渡る閉鎖性海域での養殖生産と生活排水の流入によって底質環境が悪化し、危機的状況に到っている英虞湾において、産学官の研究ポテンシャルを結集・活用し、①効率的な底質改善と②干潟・浅場・アマモ場の造成により、海域の自然浄化機能の向上を図るとともに、③詳細な実測データに基づくシミュレーションから水質予報に基づく養殖の導入により、海域の環境保全と真珠養殖等の生産活動が調和した新たな沿岸海域の環境を創生し、地域経済の活性化に資する。

No.2 事業名：独創的研究成果共同育成事業
予算規模：2000～3500万円程度 事業期間：平成13年度
もともになった研究シーズ：ヒト体液中テネイシンC測定臨床診断薬の開発（三重大学医学部 吉田利通教授）
研究者（所属、役職）：吉田利通（三重大学医学部、教授）
もともになったR S P活動：平成13年度シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：三重大学、㈱免疫生物研究所
研究概要：癌組織に限らず、組織は実質と間質から成り立っており、従来の実質を対象とした病変の診断は不十分である。疾患病変を新しい局面からとらえるために、癌間質に多く発現される大型のテネイシンCバリエント（TNC）を測定できる酵素免疫測定キットを試作し、その性能および各種疾患病変に対する特異性等を確認した。

No.3 事業名：F/S 委託研究課題
予算規模：200万円程度 事業期間：平成14年度
もともになった研究シーズ：熱過程によるすずー亜鉛多層膜からの高耐食性カドミウムフリー合金めっき

研究者（所属、役職）：兼松秀行（鈴鹿工業高等専門学校、助教授）
もともになったR S P活動：平成13年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：鈴鹿工業高等専門学校
研究概要：環境規制が世界的な規模で年々厳しくなる昨今、自動車用のめっきとして多用されているクロムめっきは環境負荷性が高いため、代替材料の開発が望まれている。本研究者は、これまですずーニッケル合金を構成成分単相の積層膜を加熱処理することにより作製するプロセスを提案してきたが、本試験では、(1)すずーニッケル合金の積層単相膜加熱法による生成皮膜層の制御条件の明確化、(2)現出相の耐食性、硬度、色調の検討、の二点を行い、加熱速度、高温保持温度、膜厚などにより、現出層が規定されること、また各層の硬さや耐食性、色調の関係を明らかにした。

No.4 事業名：事業化のための育成研究課題（プラザ東海）
予算規模：9000万円 事業期間：平成15年度～平成17年度
もともになった研究シーズ： 1) 血液流動性測定装置の開発と血流改善薬剤の探索研究 2) Protein S (PS)の作用機構の解明とPS受容体の単離・同定 3) 血栓性疾患の発症にかかわるゲノム異常、ゲノム多型の検索 4) 血管新生に関与するプロテアーゼとその制御調節因子に関する基礎的研究
研究者（所属、役職）：鈴木宏治（三重大学医学部、教授）
もともになったR S P活動：平成14年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：三重大学医学部、太陽化学㈱
研究概要：血管障害性生活習慣病に対する予防食品の開発研究

No.5 事業名：F/S 委託研究課題（プラザ東海）
予算規模：200万円前後 事業期間：平成16年度
もともになった研究シーズ：花き・花木中に含まれる生理活性物質の探索
研究者（所属、役職）：生貝初（鈴鹿工業高等専門学校、教授）
もともになったR S P活動：平成14年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：鈴鹿工業高等専門学校
研究概要：シャクヤクの機能性成分の探索と同定に関する研究

No.6 事業名：F/S 委託研究課題
予算規模：200万円前後 事業期間：平成17年度
もともになった研究シーズ：粘膜免疫誘導可能な経口・経鼻ワクチンの開発
研究者（所属、役職）：保富康宏（三重大学医学部、助教授）
もともになったR S P活動：平成15年度育成試験、平成17年度シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：三重大学

研究概要：粘膜免疫誘導可能な経口・経鼻ワクチンの開発

No.7 事業名：データ補完  
予算規模：100～150万円程度  
事業期間：平成16年度  
もともなった研究シーズ：非線形特性を有するシンプル・軽量なバネの開発と応用  
研究者（所属、役職）：白井達也（鈴鹿工業高等専門学校、講師）  
もともなったR S P活動：平成16年度シーズ調査  
参加研究機関（企業含む）：鈴鹿工業高等専門学校  
研究概要：非線形バネ特性を有する新しい構造のバネ要素

No.8 事業名：F/S 委託研究課題  
予算規模：200万円程度  
事業期間：平成17年度  
もともなった研究シーズ：非線形ばねを用いた体位変換補助機能付き介護ベッドの開発  
研究者（所属、役職）：白井達也（鈴鹿工業高等専門学校、講師）  
もともなったR S P活動：平成17年度シーズ調査  
参加研究機関（企業含む）：鈴鹿工業高等専門学校  
研究概要：非線形ばねを用いた体位変換補助機能付き介護ベッドの開発

No.9 事業名：F/S 委託研究課題  
予算規模：200万円程度  
事業期間：平成17年度  
もともなった研究シーズ：バイオテクノロジーによる新しい自然発症型の癌モデル動物の確立  
研究者（所属、役職）：鈴木昇（三重大学生命科学研究支援センター、助教授）  
もともなったR S P活動：平成17年度シーズ調査  
参加研究機関（企業含む）：三重大学医学部  
研究概要：遺伝子をノックアウトすることにより新しい自然発症型癌モデルマウスを確立する。

No.10 事業名：シーズ育成試験  
予算規模：200万円以内  
事業期間：平成17年度  
もともなった研究シーズ：高耐熱性プロトン伝導有機・無機ハイブリッド材料の開発  
研究者（所属、役職）：青木裕介（三重大学工学部、助手）  
もともなったR S P活動：平成17年度シーズ調査  
参加研究機関（企業含む）：三重大学  
研究概要：現在のフッ素樹脂系電解質膜に代替する電解質材料として、ポリジメチルシロキサン(PDMS)系有機・無機ハイブリッド材料により高プロトン伝導電解質材料の開発を行

う。

No. 11 事業名：シーズ育成試験
予算規模：200万円以内 事業期間：平成17年度
もともになった研究シーズ：次世代超軽量エンジンバルブ製造法の開発
研究者（所属、役職）：篠田剛（名古屋大学工学研究科、教授）
もともになったR S P活動：平成17年度シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：三重大学
研究概要：エンジンバルブに適した特性を持つTiあるいはTiAl系バルブの軸端部等の磨耗特性や衝撃特性を要する部分に耐熱鋼を接合する方法を開発することにより、高効率化を図る。

No. 12 事業名：シーズ育成試験
予算規模：200万円以内 事業期間：平成17年度
もともになった研究シーズ：乳房X写真における微小石灰化クラスタの自動検出法の開発とその実用化研究
研究者（所属、役職）：中山良平（三重大学医学部、助手）
もともになったR S P活動：平成17年度シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：三重大学
研究概要：乳房X写真の微小石灰化クラスタ自動検出法を開発し、検出された微小石灰化クラスタの位置を読影医に提示することにより、検出率の向上と読影医不足の解消を図る。

No. 13 事業名：シーズ育成試験
予算規模：200万円以内 事業期間：平成17年度
もともになった研究シーズ：尿中酸化・ニトロ化ストレスのバイオマーカー定量法の開発
研究者（所属、役職）：川西正祐（三重大学医学部、教授）
もともになったR S P活動：平成17年度シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：三重大学、エム・シー・メディカル㈱
研究概要：酸化・ニトロ化グアニンの尿中排泄量をストレスマーカーとして定量することにより個々の健康状態を総合的に評価することを目的として、8-OHdGや8-nitroguanineの定量を可能とするシステムを構築する。

No. 14 事業名：シーズ育成試験
予算規模：200万円以内 事業期間：平成17年度
もともになった研究シーズ：ナノ制御マイクロインジェクション用送液系の開発
研究者（所属、役職）：田丸浩（三重大学生物資源学部、助教授）
もともになったR S P活動：平成17年度シーズ調査

参加研究機関（企業含む）：三重大学、(株)東海工業所
研究概要：ゼブラフィッシュ受精卵に自動インジェクションが可能な「ナノオートインジェクション装置」におけるインジェクション時の液量を100ピコリットルレベルで正確に制御が可能なシステムの開発を行う。

No. 15 事業名：シーズ育成試験
予算規模：200万円以内 事業期間：平成17年度
もともになった研究シーズ：生体酸化ストレスの簡易モニタリング技術の開発
研究者（所属、役職）：寺西克倫（三重大学生物資源学部、助教授）
もともになったR S P活動：平成17年度シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：三重大学、アトー(株)
研究概要：生体内活性酸素をマーカーとした酸化ストレス度のベッドサイドでのリアルタイムモニタリングを可能にする簡易で安価な診断技術の開発を行う。

No. 16 事業名：シーズ育成試験
予算規模：200万円以内 事業期間：平成17年度
もともになった研究シーズ：生体組織修復を促進する伸縮性細胞培養基材の開発
研究者（所属、役職）：宮本啓一（三重大学工学部、工学部）
もともになったR S P活動：平成17年度シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：三重大学
研究概要：弾性組織修復を促進する伸縮性の医用材料として、「エラスチン」からなる微細構造を有する新しい伸縮性の細胞培養基材の開発をめざす。

No. 17 事業名：シーズ育成試験
予算規模：200万円以内 事業期間：平成17年度
もともになった研究シーズ： <ul style="list-style-type: none"> <li>・加速度脈波による動脈系の加齢評価および自律神経機能評価システムのIT化</li> <li>・加速度脈波による個人対応型の運動耐容能評価システムの開発</li> </ul>
研究者（所属、役職）：高田晴子（鈴鹿医療科学大学医用工学部、教授）
もともになったR S P活動：平成15、17年度シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：鈴鹿医療科学大学
研究概要：人の加速度脈波を2分間測定して、波形解析から、個人の安全心拍数が何%HR reserveに相当するかを導き出し、有酸素運動の開始当初の安全な心拍数とされる50%HR reserveに相当する心拍数を示し、さらに運動効果を得るために70%HR reserveも示すことを目的とする。

(2) 文部科学省関連事業（除く J S T 事業）

No.1 事業名：科学技術振興調整費先導的研究等の推進（地域の研究開発）
資金を出す機関：文部科学省 予算規模：5000万円～2億円程度 事業期間：平成13年度～平成15年度
もともになった研究シーズ：複合型自然エネルギー発電システムの開発研究
研究者（所属、役職）：清水幸丸（三重大学工学部、教授）
もともになった R S P 活動：平成13年度シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：三重大学、(株)ジャパンテクノメイト、(株)ヒラマツ、富士電機(株)、松井鉄工所(株)
研究概要：バイオマス発電システムとハイブリッド運転可能な高性能100kW可変速風力発電システムの設計・製作、および50kWマイクロガスタービンを駆動するための燃料となる畜糞メタンガスと木質バイオマスガスの発生装置の設計・製作。

No.2 事業名：都市エリア産学官連携促進事業
資金を出す機関：文部科学省 予算規模：2億6千万円弱 事業期間：平成16年度～平成18年度
もともになった研究シーズ：ゾルーゲル法を利用した新規ハイブリッド型有機 E L 材料の開発
研究者（所属、役職）：久保雅敬（三重大学工学部 助教授）
もともになった R S P 活動：平成15年度育成試験、平成15年度専門部会「次世代ディスプレイ・デバイスに関する新材料開発及び機能性向上」「次世代高性能電池材料」
参加研究機関（企業含む）：三重大学、三重県科学技術振興センター、旭鍍金(株)、クレハエラストマー(株)、シャープ(株)、中部キレスト(株)、(株)中部メディカル、(株)テクネックス工房、ノリタケ伊勢電子(株)、浜松ホトニクス(株)、ピアテック(有)、三重電子(株)、(株)三菱化学科学技術研究センター
研究概要：次世代ディスプレイ・デバイスに関する新材料開発及び機能性向上の研究開発 1) 可視光発光材料と素子の開発、2) 冷陰極型小型X線源の開発、3) 全固体二次電池及び燃料電池の開発

No.3 事業名：科学研究費若手研究(B)
資金を出す機関：文部科学省 予算規模：500万円以下 事業期間：平成16年度～平成18年度
もともになった研究シーズ：
研究者（所属、役職）：稲葉忠司（三重大学工学部、助教授）
もともになった R S P 活動：平成15年度医用工学専門部会
参加研究機関（企業含む）：三重大学工学部、医学部、三重県科学技術振興センター
研究概要：力学的アプローチによる腰椎不安定性発現メカニズムの解明

(3) 経済産業省関係事業（含中小企業庁、NEDO等）

No.1 事業名：地域創造技術研究開発費補助金
資金を出す機関：NEDO 予算規模：4000万円以内（補助率：2/3以内） 事業期間：平成13年度～平成14年度
もともになった研究シーズ：高分子材料のリサイクル
研究者（所属、役職）：加藤忠哉（三重大学工学部 教授）
もともになったR S P活動：平成13年度ニーズ調査
参加研究機関（企業含む）：エムアンドエス研究開発株

No.2 事業名：産業技術研究助成事業
資金を出す機関：NEDO 予算規模：4000万円以内/3年又は3000万円以内/2年 事業期間：平成14年度～平成15年度
もともになった研究シーズ：魚類胚を用いた環境モニタリング
研究者（所属、役職）：田丸浩（三重大学生物資源学部 助教授）
もともになったR S P活動：平成13年度シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：三重大学

No.3 事業名：産業技術研究助成事業
資金を出す機関：NEDO 予算規模：4000万円以内/3年又は3000万円以内/2年 事業期間：平成14年度～平成15年度
もともになった研究シーズ：自己形成ナノアンテナ構造を有する高感度窒化物半導体系紫外線受光素子の創製
研究者（所属、役職）：元垣内敦司（三重大学工学部 助手）
もともになったR S P活動：平成13年度シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：

No.4 事業名：戦略的産業技術実用化開発費助成事業
資金を出す機関：NEDO 予算規模：1億円以内/年 事業期間：平成14年度～15年度
もともになった研究シーズ：カーボンナノチューブの研究
研究者（所属、役職）：齋藤弥八（三重大学工学部、教授）
もともになったR S P活動：平成13年度シーズ調査

参加研究機関（企業含む）：三重大学、ノリタケ伊勢電子(株)（現ノリタケカンパニーリミテド(株)）

No.5 事業名：即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業（一般枠）

資金を出す機関：経済産業省

予算規模：1億円程度

事業期間：平成13年度～平成14年度

もともになった研究シーズ：小型・低コストPEFC用エラストック・セパレータの開発

研究者（所属、役職）：中村修平（三重大学工学部、教授）

もともになったR S P活動：平成13年度ニーズ調査

参加研究機関（企業含む）：三重大学、三重県科学技術振興センター工業研究部、クレハエラストマー（株）津工場、東洋紡績（株）総合研究所（滋賀県）

No.6 事業名：地域新生コンソーシアム研究開発事業

資金を出す機関：経済産業省

予算規模：1億5千万円以内

事業期間：平成14年度～平成15年度

もともになった研究シーズ：B細胞認識に基づく新規モノクローナル抗体作製法の抗体チップへの応用

研究者（所属、役職）：富田昌弘（三重大学工学部、助教授）

もともになったR S P活動：平成13年度シーズ調査

参加研究機関（企業含む）：三重大学、(株)医学生物学研究所、東北大学、神戸薬科大学、百瀬機械設計(株)、武田薬品工業(株)、産業技術総合研究所

No.7 事業名：即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業

資金を出す機関：経済産業省

予算規模：2億円以内

事業期間：平成14年度～平成15年度

もともになった研究シーズ：化学物質安全性評価のためのエンブリオアレイシステムの開発

研究者（所属、役職）：田中利男（三重大学医学部、教授）

もともになったR S P活動：平成13年度シーズ調査

参加研究機関（企業含む）：三重大学、豊橋技術科学大学、近畿大学、(株)豊田中央研究所、アイシン精機(株)、(株)シーティーアイ、(株)中部メディカル、バイオリサーチセンター(株)、(株)名東水園、(株)東海工業所

No.8 事業名：創造技術研究開発補助事業

資金を出す機関：経済産業省

予算規模：6000万円以内（補助率：2/3以内）

事業期間：平成14年度

もともになった研究シーズ：

研究者（所属、役職）：



もともになったR S P活動：平成14年度ニーズ調査
参加研究機関（企業含む）：(株)エヌティーアイ

No. 9 事業名：地球環境保全関係産業技術開発促進事業
資金を出す機関：経済産業省 予算規模：年間数千万円から1億円程度（事業費の1/2を補助） 事業期間：平成14年度～平成16年度
もともになった研究シーズ：食品廃棄物を活用するオンサイト型バイオガス化システムの開発
研究者（所属、役職）：後藤正和（三重大学生物資源学部、教授）
もともになったR S P活動：平成13年度企業シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：井村屋製菓(株)、(株)クボタ

No. 10 事業名：創造技術研究開発事業
資金を出す機関：経済産業省 予算規模：4500万円以内（補助率：1/2以内） 事業期間：平成15年度～16年度
もともになった研究シーズ：複合型自然エネルギー発電システムの開発研究
研究者（所属、役職）：清水幸丸（三重大学工学部、教授）
もともになったR S P活動：平成13年度ニーズ調査
参加研究機関（企業含む）：(株)松井鉄工所

No. 11 事業名：創造技術研究開発事業
資金を出す機関：経済産業省 予算規模：4500万円以内（補助率：1/2以内） 事業期間：平成15年度～16年度
もともになった研究シーズ：超微粒子製造のための気流分級に関する研究（
研究者（所属、役職）：社河内敏彦三重大学工学部、教授）
もともになったR S P活動：平成14年度ニーズ調査
参加研究機関（企業含む）：(株)サタス

No. 12 事業名：地域新生コンソーシアム研究開発事業（中小企業枠）
資金を出す機関：経済産業省 予算規模：5000万円以内 事業期間：平成16年度～平成17年度
もともになった研究シーズ：有用生薬を用いたテーラーメイド機能性食品の開発
研究者（所属、役職）：藤川隆彦（三重大学医学部 講師）

もとになったR S P活動：平成15年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：三重大学、三重県科学技術振興センター、(株)赤塚植物園、東邦産業(株)、(株)HID、インダファーマシー(株)

No. 13 事業名：化学発光・生物発光の計測標準システムに関する調査研究
資金を出す機関：経済産業省 予算規模： 事業期間：平成17年
もとになった研究シーズ：分析用発光試薬の開発
研究者（所属、役職）：寺西克倫（三重大学生物資源学部 助教授）
もとになったR S P活動：平成15年度育成試験
委託先：独立行政法人産業技術総合研究所 参加研究機関（企業含む）：独立行政法人産業技術総合研究所、三重大学、企業数社

No. 14 事業名：固体高分子形燃料電池実用化戦略的技術開発事業・基礎的・共通的課題に関する技術開発
資金を出す機関：NEDO 予算規模：2000万円程度 事業期間：平成17年度～18年度
もとになった研究シーズ：
研究者（所属、役職）：武田保雄（三重大学工学部 教授）
もとになったR S P活動：次世代高性能電池材料専門部会
参加研究機関（企業含む）：三重大学、三重県、学校法人大同学園、大同特殊鋼、立命館大学、信州大学、株式会社KRI、東京電機大学、(株)東レリサーチセンター、

No. 15 事業名：地域新生コンソーシアム研究開発事業（一般枠）
資金を出す機関：経済産業省 予算規模：1億5千万円以内 事業期間：平成17年度～平成18年度
もとになった研究シーズ：リポソーム工学と遺伝子工学の融合による新規生物工学的技術の開発
研究者（所属、役職）：吉村哲郎（三重大学工学部、教授）、
もとになったR S P活動：平成13年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：三重大学、名古屋大学、（独）産総研、アナビーエスエス(有)、(株)丸菱バイオエンジ、橋本電子工業(株)、(株)医学生物学研究所

No. 16 事業名：地域新生コンソーシアム研究開発事業（一般枠）
資金を出す機関：経済産業省 予算規模：1億5千万円以内 事業期間：平成17年度～平成18年度

もともになった研究シーズ：未利用糖質資源からエコ・アルコール醗酵技術の開発 生澱粉から超微細粉末試料の調整とその新規利用
研究者（所属、役職）：久松眞（三重大学生物資源学部、教授）
もともになったR S P活動：平成15年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：王子製紙(株)、中央加工機(株)、(株)宮崎本店、敷島スターチ(株)、 三重大学

No. 17 事業名：新産業創生研究会活動(東海ものづくり創生プロジェクト産業クラスター 計画)
資金を出す機関：中部科学技術センター 予算規模： 事業期間：平成15年度
もともになった研究シーズ：リポソーム工学と遺伝子工学の融合による新規生物工学的技術 の開発、効率的リポソームワクチン経口投与方法の開発による養殖魚介類疾病防除方策の確立
研究者（所属、役職）：吉村哲郎（三重大学工学部 教授）、宮崎照雄（三重大学生物資 源学部、教授）
もともになったR S P活動：平成13年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：三重大学、武田シェリング(株)、メイパルス(株)、丸年水産(株)、 三重県科学技術振興センター、岐阜県淡水魚研究所

(4) その他の省庁関係事業

No.1 事業名：木質資源循環利用技術開発事業
資金を出す機関：林野庁 予算規模：14億円（1/2補助） 事業期間：平成13年度～17年度
もともになった研究シーズ：植物系分子素材の高度循環活用システムの構築
研究者（所属、役職）：船岡正光（三重大学生物資源学部、教授）
もともになったR S P活動：平成13年度シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：三重大学、(株)荏原製作所他18社
研究概要：未利用のまま放置されている間伐材や製材工場から出てくる残廃材の木材成分の利用技術を実用化することによって未使用間伐材の有効活用が可能となる上、間伐などの促進による森林整備を一層推し進めることにより、地球温暖化防止に貢献することができる。木材は、セルロースおよびヘミセルロースの繊維質、これと結合しているリグニン、樹脂およびその他の副成分により構成されている。本プロジェクトでは、リグニンの特性を活かしたリグニン利用技術の開発を進める。

No.2 事業名：宇宙開発ベンチャー・ハイテク開発制度事業
資金を出す機関：宇宙開発事業団 予算規模：100万円程度 事業期間：平成14年度～15年度
もともになった研究シーズ：
研究者（所属、役職）：小磯賢智（三重県科学技術振興センター、研究員）
もともになったR S P活動：平成14年度ニーズ調査
参加研究機関（企業含む）：(有)ベンチャーフォーラム三重
研究概要：2次元振動子のマイクロジャイロへの応用及びその放熱の研究

No.3 事業名：宇宙開発ベンチャー・ハイテク開発制度事業
資金を出す機関：宇宙開発事業団 予算規模：100万円程度 事業期間：平成14年度～15年度
もともになった研究シーズ：なし
研究者（所属、役職）：
もともになったR S P活動：平成14年度ニーズ調査
参加研究機関（企業含む）：(株)エヌティーアイ
研究概要：DRLチップの宇宙開発における応用可能性の検討。なお当事業への応募をRSP事業から提案した。

No.4 事業名：漁港高度利用促進対策事業・海洋深層水プログラム
資金を出す機関：農林水産省（水産庁） 予算規模：23億4700万円 事業期間：平成16年度～17年度

もともになった研究シーズ：海洋深層水の機能性（菅原、大宮）、海洋深層水を利用したハバノリ養殖（前川）、海洋深層水の園芸植物への利用（河合）、海洋深層水を使用したうどんのレオロジー（古市）、熊野灘の海洋環境（内田）、海域の環境評価（伊藤）、干物・活魚輸送（荒木）
研究者（所属、役職）：菅原庸（教授）、大宮邦男（教授）、前川行幸（教授）、河合義隆（助教授）、古市幸生（教授）、内田誠（助教授）、伊藤良栄（助手）、荒木利芳（教授）（全員三重大学生物資源学部 所属）
もともになったR S P活動：平成15年度専門部会「海洋深層水の利用」
参加研究機関（企業含む）：尾鷲市
研究概要：水産利用（栽培漁業センター利用、ハバノリ養殖、活魚輸送、水産加工利用）、その他利用（飲料水、食料品、化粧品）

No. 5 事業名：生物系産業創出のための異分野融合研究支援事業
資金を出す機関：独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構 予算規模：2600万円以内/年 事業期間：2004年度～2005年度
もともになった研究シーズ：分析用開発光試薬の開発
研究者（所属、役職）：寺西克倫（三重大学生物資源学部、助教授）
もともになったR S P活動：平成15年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：三重大学
研究概要：生体情報可視化モニタリング用発光プローブシステムの開発

No. 6 事業名：先端技術を活用した農林水産研究高度化事業
資金を出す機関：農林水産省 予算規模：2000万円程度 事業期間：平成16年度～平成18年度
もともになった研究シーズ：
研究者（所属、役職）：荒木利芳（三重大学生物資源学部、教授）
もともになったR S P活動：専門部会「水産資源の高度有効利用技術の開発」
参加研究機関（企業含む）：（独）水産総合研究センター養殖研究所、三重大学生物資源学部、オリエンタル酵母工業㈱
研究概要：酵素処理によるアマノリ無利用資源の有効活用に関する研究

（5）都道府県単独事業

No. 1 事業名：中小企業経営革新支援対策補助金
資金を出す機関：三重県 予算規模：500万円以内（補助対象経費の2/3以内） 事業期間：平成15年度
もともになった研究シーズ：環境にやさしい多層膜熱処理による合金皮膜作製システム
研究者（所属、役職）：兼松秀行（鈴鹿工業高等専門学校、助教授）

もともになったR S P活動：平成13年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：鈴鹿工業高等専門学校
研究概要：マグネシウム合金へのスズ-ニッケルの多層膜合金化による表面処理技術により、従来の耐食皮膜と比較して飛躍的に高い耐食性と高機械強度、通電性などの特性を備えた高機能化した材料の研究開発を行う。

No.2 事業名：産業廃棄物抑制等研究開発事業費補助金
資金を出す機関：三重県 予算規模：100万円から1000万円（中小企業は2/3以内、それ以外の企業は1/2） 事業期間：平成13、14年度（単年ずつ、2回採択）
もともになった研究シーズ：有機性廃棄物のバイオガス化技術の確立
研究者（所属、役職）：後藤正和（三重大学生物資源学部、教授）
もともになったR S P活動：平成13年度企業シーズ調査
参加研究機関（企業含む）：井村屋製菓(株)
研究概要：井村屋製菓(株)では、津工場から排出される有機性廃棄物のコンポスト化、食品残さの飼料化に取り組んできたが、有機性廃棄物のすべてがコンポスト化、飼料化になるとは限らず、それぞれに適応しない有機性廃棄物を使用しバイオガス化する為に実証する必要がある。また、食品廃棄物から発生したバイオガスのうち、メタンガスは蒸気や電気などクリーンエネルギーとして利用でき、発酵液は液体肥料として、発酵残渣は堆肥として利用するための研究開発も必要である。バイオガスプラントを導入し、有機性廃棄物のバイオガス化技術の確立、技術の情報公開を行うことによって有機性廃棄物のリサイクル化を進めたい。

No.3 事業名：ものづくり研究開発事業補助金
資金を出す機関：鈴鹿市 予算規模：50～250万円（対象経費の1/2以内） 事業期間：平成15年度～16年度
もともになった研究シーズ：花き・花木中に含まれる生理活性物質の探索
研究者（所属、役職）：生貝初（鈴鹿工業高等専門学校 助教授）
もともになったR S P活動：平成14年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：鈴鹿工業高等専門学校、スズラン繊維加工(株)
研究概要：芍薬・ぼたんの花と葉の抽出物を用いた抗菌肌着の開発

No.4 事業名：みえビジネスプランコンペ2004
資金を出す機関：（財）三重県産業支援センター 予算規模：顕彰金300万円 事業期間：平成16年度
もともになった研究シーズ：特定保健用食品を取得する企業が申請に必要な実験計画から書類作成までをサポート
研究者（所属、役職）：梅田幸嗣（三重大学医学部、院生）
もともになったR S P活動：三重TLOとの連携
参加研究機関（企業含む）：三重TLO特保（特定保健用食品）研究会

研究概要：近年の健康ブームを受けて、食品業界が特に注目しているのが厚生労働省が「保健の用途・効果」を表示すること許可した“特定保健用食品”です。しかし、その許可取得は、試験管による試験から動物やヒトによる効能実験などの様々な実験が必要である上に、専門的でかつ高度な書類作成が求められることから、企業単独で行うのは困難な状況で、仮に取得に漕ぎ着けたとしても相当な期間と資金を必要とします。

そこで、三重大学と三重県内の研究機関の人材ネットワークや施設を活用し、企業がより簡便で安価に特定保健用食品の認定取得が行えるためのサポート事業を行なう。

No.5 事業名：天然資源活用バイオ関係研究開発委託事業
資金を出す機関：三重県 予算規模：500万円 事業期間：平成16年度
もともになった研究シーズ：有用生薬を用いたテーラーメイド機能性食品の開発
研究者（所属、役職）：藤川隆彦（三重大学医学部、講師）
もともになったR S P活動：平成15年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：三重大学
研究概要：天然資源を活用したテーラーメイド機能性食品の開発

No.6 事業名：天然資源活用バイオ関係研究開発委託事業
資金を出す機関：三重県 予算規模：500万円 事業期間：平成16年度
もともになった研究シーズ：環境のゲノム基盤技術開発・薬理ゲノミクステクノロジー
研究者（所属、役職）：田中利男（三重大学医学部、教授）
もともになったR S P活動：ゲノム創薬専門部会
参加研究機関（企業含む）：三重大学
研究概要：天然資源活用によるゲノム創薬の基盤研究

No.7 事業名：三重県医療・健康・福祉産業産学官共同研究補助事業
資金を出す機関：三重県 予算規模：上限150万円（事業費の1/2） 事業期間：平成16年度
もともになった研究シーズ：生活習慣病の予防加工食品製造
研究者（所属、役職）：田口寛（三重大学生物資源学部、教授）
もともになったR S P活動：平成14年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：(株)三健総合研究所
研究概要：高抗酸化活性賦与ニンニク加工品の脂質代謝改善等の生活習慣病予防作用に関する検討

No. 8 事業名：液晶技術応用先端医療機器等研究開発委託研究
資金を出す機関：三重県 予算規模：400万円 事業期間：平成16年度
もともなった研究シーズ：
研究者（所属、役職）：平松和政（三重大学工学部、教授）
もともなったR S P活動：ディスプレイ医療応用専門部会
参加研究機関（企業含む）：三重大学（工学部、医学部）
研究概要：発光ダイオード医療検査機の開発と口腔医療応用

No. 9 事業名：液晶技術応用先端医療機器等研究開発委託研究
資金を出す機関：三重県 予算規模：400万円 事業期間：平成16年度
もともなった研究シーズ：
研究者（所属、役職）：鶴岡信治（三重大学工学部、教授）
もともなったR S P活動：ディスプレイ医療応用専門部会
参加研究機関（企業含む）：三重大学
研究概要：液晶ディスプレイを利用したポータブルな医療用画像診断機器の開発

No. 10 事業名：液晶技術応用先端医療機器等研究開発委託研究
資金を出す機関：三重県 予算規模：400万円 事業期間：平成16年度
もともなった研究シーズ：
研究者（所属、役職）：奥山文雄（鈴鹿医療科学大学医用工学部、教授）
もともなったR S P活動：ディスプレイ医療応用専門部会
参加研究機関（企業含む）：鈴鹿医療科学大学
研究概要：3次元立体画像共有空間を利用した遠隔医療システムの開発

No. 11 事業名：中小企業経営改革チャレンジ（新商品・新技術開発）支援事業
資金を出す機関：（財）三重県産業支援センター 予算規模：150～450万円（事業費の1/2以内） 事業期間：平成17年度～平成18年度
もともなった研究シーズ：非線形特性を有するシンプル・軽量のバネの開発と応用
研究者（所属、役職）：白井達也（鈴鹿工業高等専門学校、講師）
もともなったR S P活動：平成16年度シーズ調査、福祉用具開発専門部会
参加研究機関（企業含む）：三恵工業㈱



研究概要：非線形バネ（SAT）使用のイス用リクライニング機構実用化の研究

No. 12 事業名：液晶技術応用先端医療機器等研究開発委託事業
資金を出す機関：三重県 予算規模：400万円 事業期間：平成17年度
もともになった研究シーズ：
研究者（所属、役職）：平松和政（三重大学工学部、教授）、三宅秀人（三重大学工学部、助教授）、田川俊郎（三重大学医学部、教授）
もともになったR S P活動：ディスプレイ医療応用専門部会
参加研究機関（企業含む）：三重大学、ピアテック(有)、橋本電子工業(株)、三重県科学技術振興センター
研究概要：発光ダイオード医療検査機を用いた口腔医療イメージングの研究

No. 13 事業名：中小企業経営改革チャレンジ（新商品・新技術開発）支援事業
資金を出す機関：（財）三重県産業支援センター 予算規模：150～450万円（事業費の1/2以内） 事業期間：平成17年度～平成18年度
もともになった研究シーズ：花き・花木中に含まれる生理活性物質の探索
研究者（所属、役職）：生貝初（鈴鹿工業高等専門学校、教授）
もともになったR S P活動：平成14年度育成試験、芍薬から抽出される機能性物質の同定・有効利用専門部会
参加研究機関（企業含む）：東海オールセット(株)
研究概要：芍薬由来抗菌性物質の量産技術と応用技術の開発

No. 14 事業名：中小企業経営改革チャレンジ（新商品・新技術開発）支援事業
資金を出す機関：（財）三重県産業支援センター 予算規模：150～450万円（事業費の1/2以内） 事業期間：平成17年度～平成18年度
もともになった研究シーズ：生活習慣病の予防加工食品製造
研究者（所属、役職）：田口寛（三重大学生物資源学部 教授 9
もともになったR S P活動：平成14年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：(株)三健総合研究所
研究概要：バイオ技術を用いた高能率大量増殖法によるウィルスフリー苗の開発と機能性の高い小球1片種ニンニクの商品化

No. 15 事業名：アグリビジネス化支援研究開発事業
資金を出す機関：三重県 予算規模：800万円程度/年

事業期間：平成16年度～17年度
もともになった研究シーズ：カンキツおよびカキの未利用資源からの地域特産機能性食品素材の開発とその利用
研究者（所属、役職）：市ノ木山浩道（三重県科学技術振興センター、主幹研究員）
もともになったR S P活動：かんきつ類の有効利用専門部会（専門部会委員長 後藤正和（三重大学生物資源学部、教授）
参加研究機関（企業含む）：三重大学生物資源学部、三重県科学技術振興センター
研究概要：「カンキツ幼果を利用した加工食品の開発」「カキ幼果等の乳酸発酵処理による食品素材の開発」

No.16 事業名：ベンチャー総合補助金
資金を出す機関：（財）三重県産業支援センター 予算規模：2000～5000万円 事業期間：平成15年度採択（予算決定から1年以内）
もともになった研究シーズ：一般家庭への普及を目的とした小型風力発電システムの開発
研究者（所属、役職）：山村直紀（三重大学工学部、講師）
もともになったR S P活動：平成13年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：三重電子株式会社 中村 多満夫
研究概要：無接触伝送技術を用いた「超精密ナノモーションユニット機器」（略称：NMU）

（5）財団等

No.1 事業名：研究助成（一般助成）
資金を出す機関：財団法人旗影会 予算規模：100万円 事業期間：平成17年度
もともになった研究シーズ：分析用開発光試薬の開発
研究者（所属、役職）：寺西克倫（三重大学生物資源学部 助教授）
もともになったR S P活動：平成15年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：三重大学
研究概要：ヒアルロン酸-シクロデキストリン結合体による健康補助物質・薬物の体内輸送システムの創製

No.2 事業名：Academia Showcase
資金を出す機関：財団法人化学技術戦略推進機構 予算規模：200万円 事業期間：平成17年度

もとになった研究シーズ：分析用開発光試薬の開発
研究者（所属、役職）：寺西克倫（三重大学生物資源学部 助教授）
もとになったR S P活動：平成15年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：三重大学
研究概要：環状糖鎖シクロデキストリンを用いた薬物輸送システムの開発

No. 3 事業名：研究助成
資金を出す機関：岡三加藤文化振興財団 予算規模：60～70万円程度 事業期間：平成16年4月～平成17年3月
もとになった研究シーズ：看護師スケジュールにおける制約条件を取り入れたコーディング方法に関する一考察
研究者（所属、役職）：吉川大弘（三重大学工学部、助手）
もとになったR S P活動：平成14年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：三重大学
研究概要：遺伝的アルゴリズムを用いた看護師勤務表自動作成システムの構築に関する研究

No. 4 事業名：自然科学系研究助成（奨励研究助成）
資金を出す機関：旭硝子財団 予算規模：200万円 事業期間：平成15年度～16年度
もとになった研究シーズ：新しい抗生物質の探索研究
研究者（所属、役職）：清水真（三重大学工学部、教授）、八谷巖（三重大学工学部、助教授）
もとになったR S P活動：平成14年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：三重大学
研究概要：環境調和型有機合成反応を用いるHIV酵素阻害剤KNI-764およびその誘導体の合成研究

No. 5 事業名：研究助成
資金を出す機関：岡三加藤文化振興財団 予算規模：60～70万円程度 事業期間：平成15年度
もとになった研究シーズ：新しい抗生物質の探索研究
研究者（所属、役職）：清水真（三重大学工学部、教授）、八谷巖（三重大学工学部、助教授）
もとになったR S P活動：平成14年度育成試験
参加研究機関（企業含む）：三重大学
研究概要：イミノアルドール反応を鍵反応に用いるHIV酵素阻害剤KNI-764およびその誘導体の合成研究